



みなみ風たより

令和7年新年の御挨拶

南部病院 院長 山成 英夫

あけましておめでとうございます。
令和7年年頭にあたり皆様に御挨拶を申し上げます。



昨年は年の初めに能登半島地震があり宮崎でも地震、台風、竜巻など自然災害の多い年でした。被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。南部病院では自然災害に対する対策を立てるとともに、宮崎市南部地域の中核病院として地域の皆様のお役に立てるよう準備を進めています。

さて今年の干支は巳年です。へびは医療の象徴とされている動物で、傷ついても脱皮をして復活することで再生と治癒を意味していることです。また変革と新しい年の始まりや成長の象徴とも言われています。皆様ご存じのようにWHO(世界保健機関)のロゴマークには杖にまきついたへび(アスクレピオスの杖)が描かれています。

このように医療にとっては縁起の良い年となるはずですが、実際に医療をとりまく状況はコロナやインフルエンザなどの感染症の蔓延、人材難や材料費、光熱費、人件費の高騰など多くの問題があり、今年も厳しい状況が予想されます。この困難な状況を振り払ってくれる魔法の杖があればよいのですがもちろんそんなものはありません。私たちはこの難局をのりこえるためにスタッフ一丸となり力を結集して、より良い医療を提供するべく努力を続けなければいけません。地域の皆様にとって、安心してより良い医療を受けていただける環境を築くために職員一同全力で務めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
健康と幸福に満ちた一年となりますよう、心よりお祈りいたします。



八尋 克三理事長



XアカウントのQRコードです。@miyazakinanbuhp
2024年12月よりX(エックス 旧ツイッター)を開始いたしました。病院からのお知らせなどを投稿いたします。
ご利用ください。



南部病院のホームページのQRコードです。
診療案内などの確認にご利用下さい。 <https://nanbuhp.or.jp/>



○赤江地区総合文化祭参加

今年も赤江地区交流センター（旧 赤江公民館）文化祭に南部病院の健康相談コーナーを設置させていただきました。令和6年11月17日（日）

午前10時から11時の間と短時間ではありましたが、地域の皆様と貴重なふれあいの時間を持つことができました。

当院からは、内科 田中副院長、看護師3名、他2名が参加しました。交流センター入口のスペースに南部病院のご紹介や特定検診などをパネル掲示し、ご希望の方には、医師と看護師による個別相談を行いました。

例えば、健康診断で検査の値が前年より高くなり、治療を勧められた訳ではないけれどどうしたらよいのか、コロナワクチンは受けた方がよいのかといった病院に行って聞くほどではないけれど・・・気になる事などの御相談を受けました。

特に年齢が上がるにつれて、例え持病が無くても、何かあった時の相談ができる医療機関を持つことは必要だと思います。地域の皆様が、当院に気軽にご相談して頂けるよう今後も地域の皆様との、交流の機会を大事にしたいと思います。



○八尋克三理事長 傘寿記念祝賀会

本年10月26日、南部病院理事長 八尋克三先生の80歳の誕生日でした。職員有志による祝賀会をホテルニューウェルシティにて開催いたしました。当日は、100名近くの参加があり、参加者は理事長作の自画像がプリントされたTシャツを着て、傘寿を象徴する黄金色の衣装をまとった理事長を囲みました。

各部署からお祝いの言葉や宮崎出身のシンガーソングライターの演奏などの余興もあり、にぎやかな会となりました。これからも南部病院の顔として、いつまでもお元気でいて欲しいと心から願っています。



【発行】

医療法人社団 誠友会 南部病院

〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久891-14

【代表電話】 0985-54-5353 (FAX) 0985-54-5160

【ナビダイヤル】 0570-08-5353 【受付時間】 平日 8時～18時

※代表電話混雑緩和のため、令和5年9月にナビダイヤルを導入いたしました。
ガイダンスに従って番号をお選び下さい。

